

日本医労連 精神部会	<h1>精神部会ニュース</h1>	NO. 34号 2013年3月25日
---------------	-------------------	-----------------------

## 13 春闘 産別結集強め前進勝ち取ろう！

### 精神部会 回答引出し 35%、3月末迄有額回答を

13春闘は、全国で昨年を上回る奮闘が続いており、これまでに26労組がベアを獲得しています。精神部会の春闘状況(3/18集約時点)は、要求書提出33組合(67%)、スト権確立20組合(41%)、回答引出しは17組合(35%)です。3月25～27日は回答促進ゾーンです。3月末までに有額回答を引出し、ベアにこだわり要求前進を勝ち取りましょう！

### 東京・精神部会 経営要請行動、13春闘学習決起集会

東京医労連精神部会は、経営者要請行動を3月7日・8日の2日間、5単組12名の参加で実施。経営者と病院の状況や精神情勢などについて意見交換し、回答指定日の誠意ある回答を要請。



また、3月8日には、13春闘学習決起集会を6単組21名の

参加で実施。清水副部長が司会、安野部長のあいさつの後、日本医労連三浦宜子中央執行委員が「5局長通知の活用・精神医療の情勢と運動」について講演。高松事務局長から今後の運動方針として①組合員参加の春闘を進める、②看護署名1人10筆目標到達をめざす、③組織拡大の3つの課題を提起、最後に殿谷副部長の「団結がんばろう」で集会をしめくくり、春闘での奮闘を意思統一しました。

### 3月14日統一行動 飛鳥、桜ヶ丘 抗議のストライキ

定昇カット回答の桜ヶ丘は、14日は抗議の指名ストライキ(28名)。10年近く定昇カットが続く組合員の不満が強まっており、今後の交渉で2次回答がなかった場合には全面ストライキに入る体制で闘争を強めています。飛鳥は2年連続で定昇の回答が出されず、14日に始業時1時間の全面ストライキ(32名)を行い、経営側に抗議文を提出しました。経営側より今後の病院の運営方針が出されていない中、離職者が増え看護基準が18対1に落ちており、たたかいを強めています。(東京医労連精神部会ニュースより抜粋掲載)

精神科病院をめぐって、稼働率の低下や病棟再編等多くの課題がありますが、そうした中でも経営者の責任として人手を確保して賃金労働条件を改善していく努力と計画が必要です。病院の健全な発展のためにも、賃金・労働条件の改善は譲れない要求である姿勢を毅然として示し、政策・制度改善を迫る取り組みの強化を経営者にも求めていきましょう。個別経営の中にとどまらず、産別統一闘争への結集を強め、13春闘を意気高くたたかっていきましょう。